

タヌキが来た！

吉田 真人

我がコンクリ長屋のすぐ西側を鶴見川が流れている。堤防の上面はきれいに舗装され、散策やジョギングをする人、犬を散歩させる人達でそれなりの賑わいだ。堤防の法面は草地で、年に数回草刈りをした直後以外は雑草が生い茂っている。河川敷には灌木が生えているが、堤防の近くは草地である。

鶴見川は、一時は日本を代表する汚い川であったようだが、いつの頃からか浄化が進み、今やアオサギやシラサギが常住するに至っている。ということはエサの小魚が豊富にいる事を意味し、事実いつも何人かの釣り人を見かける。さすがに食用ではなく、Catch and releaseを楽しんでいるようではある。

2002年8月、約500m下流の新羽橋にアゴヒゲアザラシの「タマちゃん」が出没した。ここは河口から約11kmもあるがまだ汽水域で、彼は好物であるエビや魚を追い求めてここまで来た訳である。

このとき、たまたま家人が橋の近くを通りがかり、人だかりに引き寄せられ、何かと川を覗くと、タマちゃんが悠々と泳いでいるのを見る事ができた、といって自慢している。

先日7月2日、ジョギングをしていた時、6、7人が堤防の上から河川敷を見ている。一緒に確かめると、柴犬ほどの大きさの黒い物体が動いている。小学生の女の子に「アライグマ？」と聞くと、「タヌキー」だという。あれがタヌキかと見ていると、そそくさと緑の茂みに入って行ってしまった。TVの映像で見たことはあるが、実物をまじまじと見たのは初めてである。

その時に閃いた。7月7日は「みどりのタヌキ」の勝ちだ、と。

7月7日の結果は、ご案内の通りである。豊洲移転の際のゴタゴタ、新築一戸建てへのソーラーパネル義務化等、タヌキの施策に賛成する訳ではないが、朝鮮学校や関東大震災の慰霊行事への確固たる方針を考えれば、Second Bestではないだろうか。

一方の「あかいキツネ」は3位になってしまった。次の衆院選で、念願の2位を適えて欲しい。